

令和 6 年 3 月 2 日

足立区立千寿第八小学校
校長 桐敷 芳子 様足立区立千寿第八小学校
開かれた学校づくり協議会
会 長 松林 正之

令和 5 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会全体が落ち着きを取り戻し、学校教育においても通常の教育活動を行うことができるようになりました。新しく桐敷芳子校長を迎え、明るい学校づくりに向けて、教職員が一丸となって再び歩み始めている様子を感じることができます。

先生方が、学校の目標である「ふれあう、学ぶ、元気な子」の達成に向けて、児童一人一人を大切にしながら熱心に取り組まれている姿勢が伝わってくる自己評価書の内容です。教育活動を柔軟に変更しながら、児童への負担を考えながら無理をかけないように一つ一つ丁寧に教育活動に取り組む姿勢を高く評価します。

「学力向上」に関しては、先生方が日々よりよい授業を目指して、児童一人一人の能力や課題に応じた指導を充実させていると聞きます。その結果、今年度も大変素晴らしい成果が得られたことは地域にとっても嬉しい限りです。授業診断では、授業でのタブレット端末の活用が進み、児童が自在に使いこなしている姿を見て大変驚くと共に、新しい教育に向けた先生方の大変さを感じました。そんな中でも、本校が「児童同士の直接的な話し合い」を大切にしていることに感心しました。話し合いの中で、思考力・判断力・表現力をお互いに高め合っている様子がよく見られました。また、低学年から発言する時の言葉遣いに気を付けて指導していることも分かり、礼儀や学習規律といったことも大切に指導していることは嬉しく思います。今後も全児童が確かな学力を身に付け、自信をもって生き生きと生活できるよう、先生方が一つとなって指導の充実に努めてください。

「個の尊重と豊かな人間関係の育成」に関しては、挨拶指導やなかよし班活動を工夫しながら継続していることが評価できます。生活の基本である挨拶や異年齢集団活動を大切にしていることは大変素晴らしいです。登下校時の歩き方について課題があるということで、AOTSの留学生が旗振りの協力をしてくれたと聞きました。地域と学校が協力して子供たちを見守ることは大変素晴らしいことです。AOTSの皆様にご感謝すると共に、PTA会長入澤靖幸様の積極的な働きかけにも感謝いたします。学校・PTA・地域が協力して、児童が元気で明るく学校生活を送れることを期待しています。また、本校では、いじめの予防のため、いじめの早期発見・早期対応に積極的に取り組んでおられると聞いています。今後も、相手を思いやる心を育成し、いじめのない学校づくりを推進してください。

「体力向上と健康・安全の推進」に関しては、コロナ禍で低下した体力を取り戻すよう努力していることがよくわかります。今年度は、運動会や持久走大会が通常通り開催され一生懸命な子供たちの表情に感動しました。実施においては、子供たちの体力や熱中症に配慮しながら行ったと聞きました。持久走大会に向けて、子供たちが近所を走る姿が見られ、地域も活気づきました。今後も児童一人一人が運動する楽しさを味わい、自分の目標

の達成に向けて頑張ることができるように学習内容をさらに充実させてください。

また、放課後子ども教室「1008 キッズ」も、学年毎に曜日を分けて実施しているようです。今後も連携・協力を継続して、子供たちの安全な居場所づくりと共に、児童の健全育成を推進していただきたいと思います。

千寿第八小学校の伝統である、金管バンド等の特色ある教育活動も引き続き継続・発展するよう指導をお願いいたします。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「挨拶」については、校長先生が毎日校門に立たれ、率先して挨拶をされているのが素晴らしいです。そのため、児童たちが校内ですれ違う保護者や地域の方々に対してもよく挨拶をしてくれて大変嬉しく思います。また、PTAの「1008 あいさつプロジェクト」の「あいさつポスター」や「あいさつ川柳」の取組も素晴らしいです。ただ、校外における挨拶にはまだ課題があり、しっかりとできる児童とそうでない児童の個人差が大きく十分とは言えないようです。登校時に安全を見守ってくださる地域や保護者の方々、来校者の方々など、自分たちを日頃から支え見守ってくださる人たちに、挨拶を通じて感謝の気持ちを一層伝えられるようになってほしいと思います。保護者・地域の皆様、先生方には、粘り強く児童への声かけを行っていただくようお願いいたします。協議会としても積極的に協力していきます。

「心の教育」については、道徳授業地区公開講座において、本協議会が学校と共催で、最近急増しているスマートフォンやSNSの正しい使い方の必要性について、外部講師を招き、講演会を実施いたしました。児童を取り巻く環境は年々大きく変化していて心配です。SNSの普及や生活のAI化により、生活を便利で豊かにする一方で人の心を傷つけたり、良好な人間関係の構築を阻害したりするという負の事案も起きています。児童に正しい使用方法を身に付けさせるとともに、相手を思う心を育成することが様々な問題を回避することにつながります。ご家庭においても引き続き、責任をもって利用ルールやマナーについてご指導いただきたいと思います。

授業公開・行事等への保護者の参観が可能になったことで、保護者が学校に足を運ぶ機会が増え、学校での様子が見えるようになり、保護者が安心できるようになりました。今後も家庭との連携を密にして、知・徳・体の調和がとれた児童を育ててください。

3. その他

- ・学校日より、学校ホームページや開かれた学校づくり協議会において、児童の活躍や教育活動の様子、学力・体力等の定着の様子について知ることができています。今年度からホームアンドスクール（以下、H&S）というアプリを活用した情報発信方法に切り替わり、迅速な情報伝達、ペーパーレス化可能になったようです。今後もより一層、学校・家庭・地域が情報の共有や連携を行うことができるよう、開かれた学校づくりを推進してください。
- ・私たち協議会委員一同は、地域の代表として精一杯の協力をしていきます。学校と課題を共有し共に手を携えて解決に取り組んでいきます。協議会の中でも知恵を出し合い、学校に提言していきたいと思います。